

>> 2012 3/5 アイメイトサポートグッズ オンラインショップ OPEN!

>> 2012 3/5 **NEWSを更新しました!**(5月までの行事予定·お知らせ)

アイメイトサポートグッズ オンラインショップ

>> 2012 3/5 アイメイトサポートグッズ 新商品 [リバーシブルマグバー] 発売 >> 2012 3/5 アイメイトサポートグッズ 新商品 [親子ノート] 発売

アイメイトウェイ アイメイト後援会が支援するアイメイト協会は、アイメイト信導犬 の育成と歩行指導を通して、視覚障害者の自立を支援する公益 財団法人です。

>>> アイメイト協会HPへ

TOP(トップページ) アイメイト後援会とは

Copyright@アイメイト後援会、All rights reserved. E-MAI

こんにちワン! ミニ通信 オリジナルグッズ

後援会のホームページがカッコ良く リニューアルしました!グッズショッ プもオープン。是非遊びに来てね! http://www.eyemate-support.org

### 特集

地方開催第1弾

## 「歩み展in ト尾 I開催報告

### TOPICS

- ■北鎌倉ウォーキングイベント報告
- **■「アサヒワンビールクラブ」**
- ■「歩み展in横浜」開催のご案内

### 協会だより

アイメイト卒業生人数 アイメイト募金実績報告 4月からの新体制

協会スタッフは 今までにどんな動 物を飼ったことが あるのかな?

### 連載記事

- ■アイメイト協会スタッフアンケート
- ■後援会員なら知っておきたい
  - ~あなたのきっかけは何ですか?~
- ■リレー自己紹介【後援会】(中部珠美さん) (清本京子さん)
- ■同窓会自己紹介リレー (阿部裕子さん)

### 後援会からのお知らせ

- ■これまでの行事・活動&これからの行事・活動
- ■アイメイトチャリティーグッズ

Web アイメイトグッズショップオープン New グッズ紹介…親子ノート・マグネットバー

「2012年アイメイトサポートカレンダー」事業結果

- ■アイメイト募金芳名録
- ■役員会議事抄録
- ■会員のページ

総会のお知らせ&後援会役員立候補者募集!



>>> アイメイト協会HPへ

なぜ「盲導犬」ではなく 「アイメイト」なの?

「アイメイト」は、塩屋置一が1970年代から 使用している『盲電犬』に代わる呼称です。 塩屋買土、投資障害者の最良のパーナーを 単なる「百人を家く大」とは妻えていませんで した。そこで、「目(SYE)」「私(1)」「受」の3 取味を持つ「メイト」を組み合わせ、「アイメイ ト」という可除を考え出したのです。 「アイメイトは私の愛する目の仲間」」これ、 アインメトルを乗るそれまたまれたの合き業

「アイメイトは私の愛する目の仲間」 - これは、アイメイトを愛する私たちみんなの合言葉です。

**Eyemate** 

## 地方開催第1弾「歩み展 in 上尾」開催しました。

2011年11月19・20日(土・日)

於・ショーサンプラザ上尾(埼玉県上尾市)

「歩み展」の地方開催第1弾となった「盲導犬の父 塩屋賢一と アイメイトの歩み展 in 上尾」が、2011年11月19・20日(土・日)、 ショーサンプラザ上尾(埼玉県上尾市)の1階イベント広場で開催されました。

週末の駅前商業施設とあって、両日ともに多くの見学者が来場 しました。また、新聞やテレビにも取り上げられ、より多くの方 に、アイ メイト協会の創設者であり国産盲導犬第1号を生んだ塩 屋賢一氏の足跡を伝えることができました。



### 歴史展示(パネル)

国産盲導犬第1号のチャンピイがいかにして誕生し、そして、どのような困難を乗り越えて現在のアイメイト事業へとつながっていったかを辿る歴史展示です。それはまさに、アイメイト協会の創設者であり国産盲導犬第1号を生んだ塩屋賢一氏の「歩み」であり、歴史そのものであります。

こうした史実、写真や年表などをまとめたパネル(B2サイズ)やタペストリー(布製)は、時代順に1~5章に分かれています。使用者の方も多数来場し、後援会員から説明を聞きながら展示を見て回りました。



### 歩み展の趣旨

アイ メイト協会の創設者であり国産盲導犬第1号を生んだ故 塩屋賢一氏の足跡を振り返ることで、 氏が切り拓いてきた歴史的歩みを辿る。盲導犬事業及び使用者に関する啓発活動として展開するもので ある。

また、同時に、氏の教えを受けた人、影響を受けた人が集い、偲ぶことで、より一層のアイ メイト 事業の発展、ひいてはわが国の盲導犬の普及・発展につなげることを目指す。

### ■歩み展を紹介した新聞記事/広報

地元「埼玉新聞」をはじめ「朝日新聞」「毎日新聞」などに紹介していただきました。また、「テレビさいたま」が、初日(11/19・土)に会場に取材に来て、夕方のニュースで報道してくださいました。

報道がきっかけて会場にいらした方もおり、パネル展示を熱心にご覧になり、「たいへん勉強になりました」と、スタッフに声をかけてくださった方もいました。また、アイメイト協会へ後日、ご連絡くださった方もあったということです。

朝日新聞 2011.11.16







### ■ボランティア活動とアイメイトの一生を紹介

東京開催に引き続き、ボランティア活動を紹介するパネル(B2)を配置しました。飼育奉仕家庭で育つ子犬たちの成長の様子や、ボランティア家庭での楽しそうな写真が多数展示されました。

また、埼玉で学校の先生として活躍するアイメイト使用者に関するパネルをステージ正面の目立つ場所に展示し、アピールしました。



### ■モザイクアート展示

大好評のモザイクアート・タペストリー(横 200cm ×縦 103cm) が再び登場。約 2000 枚の写真が組み合わさって 1 枚の巨大なイメージをかたちづくります。

ステージのバックに、左側にアイメイト候補の子 犬たち、右側に卒業直前の銀座歩行試験のスタート 地点の様子を展示しました。



#### ■協会スタッフによる実演と体験歩行

アイメイト協会のご協力により、2日間にわたり、協会職員と訓練中のアイメイトが来てくれました。 ステージを活用して、協会スタッフによる実演、解説、そして体験歩行が行われました。

参加者は目隠しをして、実際にアイメイトと一緒に歩き、イスを探させる「チェア」を体験。子どもから大人まで、たくさんの希望者で順番待ちの列ができました。

ステージでの説明では、職員から、アイメイトが 視覚障害者の「目」であること、そして、あくまで も人が主体であり、視覚障害者の自立支援のために 事業があるという理念が伝えられました。

また、使用者と街で出会ったときにどうすればよいか、犬に食べ物をあげない・触らないなどの基本的な対応法にはじまり、もしも困っている様子があったら声をかけてほしい、誘導するときの方向の伝え方(クロックポジション)などの説明がなされました。





また、当日見学に来た埼玉県のアイメイト使用者 志賀信明さん(埼玉県)に、飛び入りでステージに 上がっていただきました。志賀さんは当初、ギャラ リートークの候補でしたが、今回、健康上の理由で ご辞退されていたところ、当日はご快復されたとい うことで、会場に足を運んでくれたのです。協会職 員からの質問に答える形で、アイメイトとの近況な どを話してくれました。



### アイメイト使用者によるギャラリートーク

アイメイトとともに、いきいきとした日々を送っている使用者の方に、ステージでお話しをしていただきました。今回は、地元埼玉県に住む使用者の方々に出演を依頼しました。アイメイトを得たきっかけや、アイメイトと一緒にどのように過ごしているかといった体験談、そして質疑応答などが行われました。

会場は、5階まで吹き抜けになっており、目の前のベンチだけでなく、上の階から身を乗り出して耳を傾ける人もいました。

### 〔パネラーと日程〕

- ・11/19(土) 14-14:30 新井淑則さん(埼玉県)
- ・11/19(土) 16-16:30 石田名奈江さん(埼玉県)
- ・11/20(日)14-14:30近重たつ子さん(埼玉県)
- ・11/20(日)16-16:30田中島義一さん(埼玉県)





### アイメイト・チャリティーグッズを販売

商業施設ということで、アイメイト・チャリティーグッズの販売や募金なども行うことができました。売上合計は222,600円、募金は31,523円でした。

また、施設内にある書店「ブックエース」さんには、アイメイト書籍のコーナーをつくっていただきました。





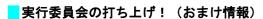
### ■みんなの思い、そして力が結集

イベントの運営はすべて、後援会員有志及びアイメイト使用者有志によるボランティアで行われました。

「歩み展 in 上尾」の企画は、最初、後援会員の 大山伸さんからの発案で会場の選定と予約がなされました。そして、埼玉在住の後援会員と使用者を 中心に、船堀での経験者が加わり、「歩み展 in 上 尾」の実行委員会が組織されました。会合と、Eメ ールを駆使しての打ち合わせを重ね、県や市の後援 申請、協賛のお願い、チラシの作成と配布など協力 してひとつひとつ積み重ねていきました。

展示するボードも、会場備品で数が足りないため、 市の公共施設から無料で借りる方法をとりました。 実行委員にはならなくとも、参加希望者は徐々に増 えていき、搬入・搬出、設営・撤収といった力仕事 では男性スタッフが大活躍。

また、当日会場では、パネルの案内、グッズ販売、 体験歩行の整理券配布といった仕事を担当する者、 あるいは、店内放送でアナウンスしたり、ギャラリ ートークのサポート役として、マイクをもってステ ージに上がったスタッフもいました



2012年1月、実行委員会のスタッフが待ち望んでいた打ち上げが行われました。東京と埼玉の両「歩み展」に参加した実行委員(使用者を含む)をはじめ、協会からも理事長などにご出席いただきました。ありがとうございました。

### 「盲導犬の父 塩屋賢一とアイメイトの歩み展 in 上尾」概要

〇日程:2011年11月19~20日(土日)

〇展示時間:11月19日(土)10:00~21:00 20日(日)10:00~18:00

〇場所:ショーサンプラザ上尾 1 Fイベント広場

埼玉県上尾市谷津2-1-1

〇主催:アイメイト後援会「盲導犬の父 塩屋賢一とアイメイト

の歩み展 in 上尾」実行委員会

〇後援:埼玉県、上尾市、富士見市、上尾市教育委員会

〇協力:公益財団法人アイ メイト協会

〇協賛:

株式会社オキナヤノ埼玉縣信用金庫本店営業部/埼玉県北足立歯科医師会/重竹歯科医院/仁木矯正歯科/株式会社ニッチ/株式会社平松/美容室はるか/堀井歯科医院(敬称略・五十音順)







#### 2012年「アイメイトデー」の会場での展示が決定!

今年2012年は、アイメイト55周年。この記念すべき年のアイメイトデーの会場に、「歩み展」のパネルを展示していただくことが決定しました。会場との調整や展示方法などなど、まだまだこれから詰めていかねばなりませんが、私たちアイメイト後援会として、たいへんにうれしい気持ちになると同時に、とても気の引き締まる思いでいます。アイメイトの益々の発展を願って、今年も頑張りましょう!



## 地方開催第2弾「歩み展 in 横浜」開催します!

2012年5月1~6日(火~日) 於・アートフォーラムあざみ野(神奈川県横浜市)

昨年開催した「**盲導犬の父 塩屋賢一とアイメイトの歩み展」**(略称「歩み展」)が、今年も各地で開催予定です。横浜開催は、昨年5月から会場のご近所にお住まいの後援会員から希望があり調整を続けてきましたが、ついに2012年5月1~6日(火~日)、神奈川県横浜市「アートフォーラムあざみ野」のギャラリーで開催することが決定しました。

「歩み展」は、アイメイト協会の創設者であり国産盲導犬第1号を生んだ 塩屋賢一氏の足跡を、写真と短い文章のパネルで辿る展示企画です。塩屋 賢一氏の歴史的歩みを簡潔に学ぶことができ、盲導犬事業及び使用者の啓 発活動として、意義深い催しです。お近くの方はぜひ、お誘い合わせの上 ご来場ください。



### 「盲導犬の父 塩屋賢一とアイメイトの歩み展 in 横浜」

○日程:2012年5月1~6日(火~日)

○展示時間:平日(1~2日) 9:00~21:00

祝日(3~5日) 9:00~17:00

最終日(6日) 9:00~15:00

○場所:「アートフォーラムあざみ野」

1階交流ラウンジ内ミニギャラリー 住所・横浜市あざみ野南1-17-3

電話・045-910-5700

○担当: 吉岡和子 電話・045-512-4864

○主催:アイメイト後援会「盲導犬の父 塩屋賢一

とアイメイトの歩み展 in 横浜」実行委員会

○協力:公益財団法人アイメイト協会

### ■ 主な展示内容(写真パネルとタペストリーの展示)

- ○「盲導犬育成を目指して」(1948~1955)
- ○「国産盲導犬第一号・チャンピイ育成を目指して」 (1956~1957)
- ○「発展、そして未来へ」(1957~)
- ○「アイメイトの一生とボランティアの輪」※体験歩行・ギャラリートークはありません。また、スタッフ不在の時もあります。





### 歩み展の趣旨

アイメイト協会の創設者であり国産盲導犬第1号を生んだ故 塩屋賢一氏の足跡を振り返ることで、氏が切り拓いてきた歴史的歩みを辿る。盲導犬事業及び使用者に関する啓発活動として展開するものである。開催を通じて、より一層のアイ メイト事業の発展、ひいてはわが国の盲導犬の普及・発展につなげることを目指す。

### 会場へのアクセス

◎電車をご利用の場合:横浜市営地下鉄・東急田園都市線【あざみ野】駅 徒歩5分 http://www.women.city.yokohama.jp/find-from-c/c-kita/



### スタッフ大募集!!

「歩み展」のお手伝いをしたい方、大募集です!とくに 搬入・設営がある4月30日や搬出がある最終日に人手 が必要です。担当者吉岡まで、是非お電話ください!

# 北鎌倉ウォーキング&テラスランチ with アイメイト ~ 「テラススタジオ 1 2 1 北鎌倉」にて~

アイメイト使用者と晴眼者が一緒に歩くウォーキングイベントが、2012年2月4日(土)に開催されました。参加者は、アイメイト使用者4名のほか、地元の子どもたちなども一緒。円覚寺脇からスタートし、 北鎌倉の歴史巡りを経て丘陵地帯のハイキングまで、約5キロを一緒に歩きました。

主催は、アイメイトサポーターでもあるオープンエアのフィットネス施設「テラススタジオ121北鎌倉」。また、アイメイト協会の協力により、「アイメイト歩行体験」も行いました。

### ■北鎌倉の歴史巡りからスタート

集合場所で準備運動をした後、最初に訪れたのは、鎌倉時代 に創建された禅寺「建長寺」。広い境内の中、歴史ある建物を次々 と巡っていき、アイメイトも一緒に仏様にお参りしました。

最初にあった小さな仏像は、『調子の悪いところと同じ場所を 触ると治る』といういわれのあるもので、アイメイト使用者も 一緒に、足や腰などを楽しみながら触っていました。

### 建長寺を過ぎると、いよいよ山道へ

建長寺の奥から、「六国見山」に登っていきます。最初は緩や かだった階段も徐々にきつくなっていきます。

まず最初の休憩は、「富士見台」と書かれた展望台。見事に晴れた青空の下、鎌倉の山々の向こうに相模湾が開け、青い空の中には富士山がくっきりと映えていました。

この日はちょうど、歩くにはとても気持ちのよいお天気で、 登っていくとじんわり汗ばむくらい、そして、立ち止まると涼 しい風が心地よいという感じの陽気でした。

山道に入ると、最初のうちは、「ここは道じゃないよ」と感じていた"シティー派"のアイメイトもいたようです。けれども、そこはさすがのアイメイトです。使用者と息を合わせながら、徐々にコツをつかんでいき、呼吸を合わせて進んでいきました。

### ■建長寺を過ぎると、いよいよ山道へ

山道を越え、尾根を下っていくと、いよいよゴールの「テラススタジオ121」に到着。地元の子どもたちも一緒になって、 テラスでランチタイムとなりました。

積極的にお手伝いしてくれた子どもたちは「クロックポジション」もしっかり覚え、お皿に載せた料理の位置を時計の文字盤に例えて伝えてくれました。









## ネットでアイメイトグッズが買えるグッズショップがオープン!

グッズショップ: http://moudouken-shop.com

アイメイトのサポートグッズがいつでも、どこででも買えるオンラインショップ「グッズショップ」が3月6日にオープンしました♪ グッズショップに遊びに来てください。気になるグッズが見つかるかも知れませんよ。

グッズショップのトップページは、かわいい仔犬たちと、使用者と歩く凛々しいアイメイトの写真が目印です。商品は、現在取り扱っている全てのグッズを購入することができます。もちろん、これまで通り販売の収益は全額アイメイト協会に寄付いたします。

代引き手数料は300円。送料は全国一律800円で、5,000円以上のお買い上げで送料無料になります。





〈各グッズ紹介ページ〉



### ~アイメイト協会のホームページでも紹介~

アイメイト協会HPのトップに、グッズショップのバナーを掲載していただいています。

また、後援会のホームページもリニューアルオープンしました。年に3回発行の「ミニ通信」の抜粋版や、募金活動の予定などもHPにアップ。どなたでも、ご覧いただけます。

### ≪大歓迎≫

ブログや個人のHPをお持ちの方で、後援会とグッズショップ のバナーを貼ってくれる方大歓迎です。後援会までご連絡ください。お待ちしております。



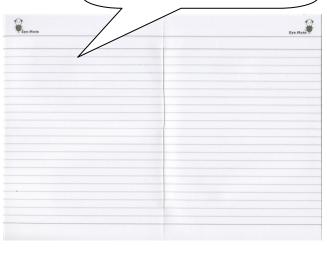
## ~グッズショップオープンで新作グッズも登場!~

## <u>ブルーの子ノートがおまけで付いてくる《親子ノート》 ¥600</u>

カバンにもすっきり収納!持ち歩くのにも手ごろなサイズのやさしい色合いが特徴の親子ノートピンクの親ノートは超こだわりの罫線付きのA5サイズ、ブルーの子ノートはミニサイズで罫線なし



親ノートの罫線をよ~く見てみると…!? 普通の罫線ではなく、「Eye Mate Eye Mate Eye Mate」と小さな文字が並んでいます。



ブルーの子ノートはおまけで付いてくる♪

## 両面使える≪リバーシブルマグネットバー≫ ¥400

強力な磁石で、しっかり留めます!両面使えるアイメイトの写真入りのマグネットバー 強力ネオジウム磁石2コがA4用紙8~10枚キャッチ!

表:子犬







写真の差し替えも自由にできるので、お好きな写真をいれてあなただけのマグネットバーにもできちゃう。サイズは、38mmX146mmX5mm。